

リモートデスクトップ接続時の警告表示

警告ってことは、危険なの？

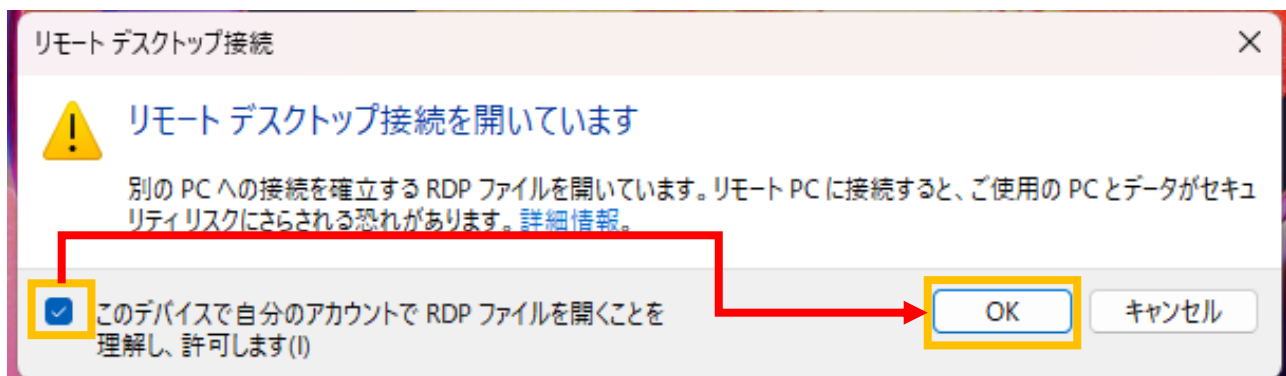
2026年4月のWindows 11アップデートに伴うセキュリティ強化により、リモートデスクトップ接続時に警告画面が表示されるようになりました。

フィッシング詐欺などの対応でこのような仕様に変更されましたが、大学のリモートデスクトップ接続が危険になったわけではございません。
大学のリモート接続はこれまで通り安心してお使いください。

警告表示が出た場合の対処方法①

接続の許可(RDPファイル)を求められた場合

1. 「このデバイスで自分のアカウントでRDP ファイルを開くことを理解し、許可します」にチェックを入れる。
2. 「OK」をクリックします。



警告表示が出た場合の対処方法②

セキュリティ警告(リソースへのアクセス許可)が出た場合

1. 許可する項目にチェック
2. 接続をクリック

何もチェックを入れなくても、リモート接続は可能です。

チェック入れるとできる事

【クリップボード】

リモート先のPCでコピーしたデータを自身のPCへ貼り付けが可能になる。

【プリンター】

リモート先のPCから、自身のPCに接続されたプリンターへの印刷が可能になる。

